

Firmware アップデートに伴い、操作方法やコンフィグ画面に変更があります。  
新しい firmware による操作方法を示します。

## 1. 操作方法

### 1) iPhone / iPad で Linn Kinsky を使う場合

- ① 画面右上の Room で DSP-xxx を選びます。
- ② 左側の home – Library から再生したい曲が入っている NAS を選びます。
- ③ NAS の中から聞きたい曲を選びます。このとき画面左下の表示が Play Now になっている場合は即再生、Play Next, Play Later のときは右側のプレーリスト表示部分に曲名が追加されます。再生するには三角の再生ボタンを押してください。
- ④ 曲再生中でも次に聴きたい曲をプレーリストに追加できます。左下表示が Play Now だと再生中に選曲すると今の曲を中断して即再生します。Play Next だと今再生中の曲の次に今選んだ曲が再生されます。Play Later だとプレーリストの最後に追加されます。

### 2) Roon を使う場合

コンフィギュレーション設定（後述）設定により Roon を使って操作することも可能です。使い方については別途 Roon のマニュアル等をご参照ください。

### 3) Diretta (LAN DAC モード)で使う場合

Windows PC とつないで LAN 経由で PC の音楽再生アプリを使って再生できます。

- ① SFORZATO 社の web page の download ページから Diretta 用ドライバーソフトをダウンロードし、インストールしてください。現在 Mac 用のドライバは用意がありません。Win 専用です。
- ② フロントボタン操作（後述）または LAN を通じたコンフィギュレーション（後述）によって、Diretta モードに切り替えてください。
- ③ PC の音楽再生ソフトで出力先を SFORZATO Diretta に設定してください。再生すると DSP-xxx から再生されます。

### 4) USB を使う場合

オプションで USB を追加すると LAN 経由でなく USB を使って操作できます。PC と接続して、You Tube、その他ストリーミングサービスなど、ネットワークプレーヤーの機能では聞くことのできない音源を再生できます。

- ① SFORZATO 社の web page の download のページから PC 用のドライバをダウンロードしてください。Mac の場合はドライバーは不要です。
- ② ドライバーを PC にインストールしてください。
- ③ PC と DSP-xxx を USB ケーブルで接続してください。
- ④ フロントボタン操作 (後述) または LAN を通したコンフィギュレーション (後述) によって、USB 動作モードに切り替えてください。
- ⑤ PC の音楽再生ソフトで出力先を SFORZATO USB AUDIO を選択してください。音楽再生することで DSP-xxx から音がでるようになります。

## 2. クロックについて

DSP-xxx は内部にクロック発振器を持ちません。必ず外部 10MHz クロックの接続が必要です。添付クロックユニットは位相ノイズの小さい高性能な TCXO で十分な高音質を得られますが、PMC-03, PMC-Pyxix などを使用することでより高音質な再生が可能になります。他社製品であっても 10MHz 出力のクロックジェネレータであればほとんどのものが使用可能です。

- ① 外部マスタークロックジェネレータの 10MHz 出力と DSP-xxx の背面の BNC 端子をインピーダンス 50 オームの BNC ケーブルで結びます。インピーダンスは 50 オームでなくても動作しますが、なるべく合わせたほうが良い結果になる場合が多いです。
- ② クロックの電源を ON にしてから、DSP-xxx の電源を入れてください。もしクロックが正しく入っていない場合、External Error の表示が本体のディスプレイに出ます。その場合は、マスタークロックとの接続、マスタークロックの電源、マスタークロックの出力周波数などをご確認ください。

## 3. フロント・スイッチについて

DSP-xxx 本体のフロントには、Display と Phase の 2 つのボタンがあります。

それぞれの機能は以下のとおりです。

### Display ボタン

演奏中の音楽の情報表示を切り替えます。

ボタンを押すたびに、トラックタイトル — アルバム名 — 演奏者名 — サンプリング周波数とビット数情報 — 表示 OFF の順に変わります。

ボタンを長押しすると、モードの切り替えができます。UPnP (Kinsky, MconnectHD 等を使って操作するモード) -> roon (roon を使って操作するモード) -> Diretta (LAN DAC として動作するモード) -> USB (オプション装着時、USB で操作するモード) -> UPnP

と順に切り替わります。

なお、停止状態がしばらく続くと、表示が自動的にオフになり、省電力モードとなります。ただし、このときも表示は消えています。他の部分には電源が入っており、コントローラからの指示を受け付けます。長くお使いにならない場合は電源のスイッチをオフにしてください。

#### Phase ボタン

位相反転（出力の極性の切り替え）ボタンです。

XLR バランス出力は、通常は 2 番 hot、3 番 cold になっています。Phase ボタンを押すと、本体ディスプレイに INV の表示が出て、3 番 hot、2 番 cold に切り替わります。また、RCA 出力の位相も反転します。

接続する機器に合わせて選択してください。また曲によっては位相を反転したほうが自然に聞こえる場合があります。お好みで設定を変えてご使用ください。

#### Display ボタンと Phase ボタンの同時押し

両方のボタンを同時にしばらく押し続けることで、設定モードに入ります。

同時押しは曲の再生中には行わないでください。

設定モードに入ると、以下の表示に変わります。

**IP address** DSP-xxx に設定された IP アドレスが表示されます。

display ボタンを押すと

**Revision** DSP-xxx の現在のソフトのバージョンが表示されます。

display ボタンを押すと

**Interface** 切り替え

現在 Ethernet モードのときは Interface to USB と表示されます。Phase ボタンを押すと再起動して USB モードに切り替わります。現在 USB モードのときは Interface to LAN と表示され、Phase ボタンで Ethernet モードに切り替わります。

display ボタンを押すと

**Live Update**

phase ボタンを押すと、DSP-xxx が自動的に SFORZATO サイトにアクセスしソフトを探して、新しいバージョンがあればアップデートします。

display ボタンを押すと

**Status:** クロック入力の周波数を表示します

display ボタンを押すと

MAC アドレス表示、

DSP-xxx に割り振られた MAC アドレスが表示されます。

Factory Reset

phase ボタンを押すと出荷時の状態にもどります。

disp ボタンを押すと

Reboot

phase ボタンで再起動になります。

display ボタンを押すとまた IP アドレス表示に戻ります。

設定モードを抜けるには、Reboot まで進んで phase ボタンを押して再起動する必要があります。

#### 4. コンフィギュレーションについて

iPhone、iPod などの場合

無料ソフト SFORZATO Connect を APP ストアからダウンロードしてください。iPad でも動作しますが、SFORZATO Connect は iPhone アプリです。APP ストアで iPhone アプリとして検索してください。iPhone、iPodなどを DSP-xxx と同じネットワークに接続して SFORZATO Connect を起動すると設定画面が開きます。

また、PC と接続して DSP-xxx の動作をカスタマイズすることが可能です。

SFORZATO web page の download ページから、SFORZATO config を PC にダウンロードしてください。DSP-xxx と同じネットワーク上の PC で実行すると、自動的にブラウザが立ち上がり、コンフィギュレーション画面が開きます。

また、直接 DSP-xxx の IP アドレスをブラウザに入力することで、コンフィギュレーション画面を開くこともできます。前章ボタンの説明のところで、2つのボタンの同時押しについて説明したとおり、設定モードに入ることで本体の IP アドレスを知ることができます。<http://xxx.xxx.x.x/> x の部分に DSP-xxx 本体から読み取った数字を入力してください。

Player;

UPnP (DLNA or OpenHome) 、roon、USB (オプション装着時)、Diretta から選択できます。UPnP は Kinsky, MConnectHD など操作する場合に選択してください。Roon を使う場合は roon を選択してください。PC と USB ケーブルでつないで操作するときは USB を選択してください。(USB は USB オプションを装着している場合のみ表示されます) PC と LAN ケーブルでつないで操作するときは Diretta を選択してください。

#### Polarity:

出力の位相を反転させることができます。

#### Controller:

MconnectHD など DLNA/UPnP コントローラソフトウェアを使って操作するか、Kinsky など OpenHome コントローラを使って操作するか、もしくは両方を使ってコントロールするかが選択できます。コントローラに MConnectHD など DLNA アプリのみをお使いであれば DLNA を、Kinsky のみをお使いになるのであれば、OpenHome を選択することをお勧めします。

#### set ボタン

上記 3 項目の設定を実行するためのボタンです。

---

#### Name:

コントローラソフトの画面に表示される DSP-xxx の名前が変更できます。お好みの名前を入力してください。

#### PCM Upsample:

Upsample を on にすると 44.1kHz/88.2kHz の PCM は 176.4kHz に、48kHz/96kHz は 192kHz にアップサンプルされてから D/A 変換されます。アップサンプルには 64bit 倍精度浮動小数演算によるプレエコーのない最小位相フィルタが使われます。

#### PCM Oversample

通常は on に設定されています。これを off にすると DA 変換時の Oversample がおこなわれないため、補間デジタルフィルタを通りません。そのためデジタルフィルタによるエコーの発生がありません。

#### Volume:

Volume を enable すると Kinsky、Roon などから音量を変更できます。

Enable50 は電源オン時ボリュームレベルが半分(50/100)に設定されます。

Enable25 は電源オン時 1/4 に、enable0 はボリューム 0 に設定されます。

電源オンの直後の音楽再生で、いきなり大きな音がでないようにするため、ご使用の環境に合わせて設定してください。

#### Default Polarity:

出力の位相を反転することができます。

**Default display:**

起動時にフロント表示をどうするかが設定できます。出荷時はタイトル表示になっています。オフを設定することも可能です。

**Display Brightness:**

ディスプレイ表示の明るさを調整できます。

**Factory Reset:**

出荷時の状態に戻すには、マークにチェックしてください。

**set ボタン:**

上記 8 項目の設定を実行するためのボタンです。

---

**Beta Function:**

開発中の新機能を別ページで表示します。

**Music Toss:**

Apple AirPlay と同様の機能です。Mac, iPhone, iPad 等の音を DSP-xxx で鳴らすことができます。開発中の機能で、動作が不安定な場合があります。

---

**UPDATE**

現在のソフトのバージョンが表示されます。

**Live:****start liveupdate ボタン :**

自動的に SFORZATO のサーバに接続して、最新のファームウェアにアップデートします。

**File:**

以前のファームウェアに戻したい場合や、liveupdate がうまく動作しない場合に、手動でファームウェアを書き換えるための機能です。

あらかじめ PC に書き換えたいファームウェアをダウンロードしておき、参照ボタンで、そのファームウェアを選択、

Write file ボタンを押すことで、ファームウェアを書き換えます。

---

